

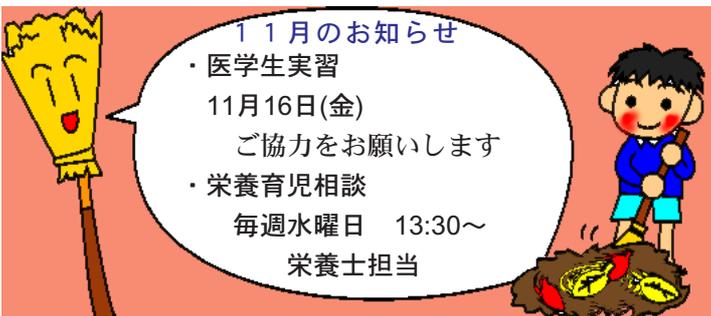
初めてのサーフィン

院長

最近、院長の顔が黒いとは思いませんか。実は先月生まれて初めてサーフィンを体験しました。この年齢で、この時期に、何故サーフィンと思われる方もいるでしょう。たまにはまじめな話を抜きにして、趣味の話でもしてみましょ。

もう30年近く前、ハワイに大学の卒業旅行で。ハナウマ湾の色とりどりの熱帯魚と海の素晴らしさに感激。シュノーケリングではもの足りず、その時以来いつかダイビングのライセンス取得を心に。小児科医になり、新生児医療の忙しさに紛れ、すっかりダイビングは遠い世界に。開業後2年後の夏休み、少しの余裕で一家そろって石垣島に旅行に行くことに。実のところ、その旅行にはダイビングに関する密かな計画が。自分がライセンスを取得するために、中学生になった息子に体験ダイビングを計画。45歳近くになって、ライセンスとなれば当然家内の猛反対は確実。30年近く夢に描いてきたダイビングも、水の泡に。息子を口実としてのライセンスとなれば、反対も少しは和らぐと。案の定、家内の強い抵抗も無く、何とかライセンス取得の準備が。ライセンス取得のためには、講習以外に海洋実習が。海洋実習は丁度今ごろ。気温は低く、海も冷たい季節。しかし、正月休みのビーチリゾートでのダイビングを夢見て、冷たい思いも何のその、1m先も見えない石浜で初めての実習。2回目は、更に寒く波も荒く、ドライスーツの中に海水が入ってびしょ濡れに。それでもアトランティスの鈴木さんのおかげで、何とかライセンスを取得。

初めてのダイビングは、息子と意見が一致してサイパンに。ふっと、インターネットの医療相談に、サイパンからの相談があったことを思い出す。情報を得ようとメールで、“はじめてサイパンにダイビングに行くので美味しい店を教えてください”と。程なく、“相談の回答ありがとうございました。実は私はサイパンのダイビングショップの店長です。是非一緒に潜りましょう”と返事。内心、ラッキーは当然。自分の時間を削っての取り組みにも、いいことはあるの



11月のお知らせ

- ・医学生実習
11月16日(金)
ご協力をお願いします
- ・栄養育児相談
毎週水曜日 13:30～
栄養士担当

だと納得。サイパンではダイビングだけでなくゴルフや食事を含めて歓待を受け、小保さんと友達付き合いに。その後も息子とのダイビングは続き、受験以外年1回は必ず父子旅行。おかげで息子



とのコミュニケーションは十分に。その後セブ島でも、医療相談を通して知りあった神田さんと友人のお付き合い。行くたびに、何から何までお世話になる歓待。医療相談のおかげで、たくさんの人との出会いに感謝感謝。

中学生からダイビングをはじめた息子は、すっかり虜になり大学に入ってからダイビング同好会立ち上げ。今年のゴールデンウィークは、同好会の顧問(これが時々テレビにでる法医学教授の佐藤先生)の強い勧めもあり、パラオへ。現地には佐藤教授専属のガイドもいる安心感。ガイドの名前は島さんで、これまたいい人。本当に楽しい旅行とダイビングを十分満喫。潮流の早さ、年齢と経験の少なさからの不安で、2回もエア切れ直前という苦い経験も。

ここで、やっとサーフィンの話を。島さんがサーフィン大好き、実習に来た医学生が高校時代にプロのサーファー。サーフィンへの興味が一気に頂点に。悪いことに製薬会社の担当者が仕事よりサーフィン好き。となるとサーフィンを経験してみると神様にでも誘導されているような気が。ダイビングの実現までには20年も。同じだと、サーフィン実現も20年。古い先短い人生を考えると、今しかない。もちろん、家内は当然の猛反対。無理せずの約束で、何とか贈りだしてもら。日頃の行いの良さか、当日は天候に恵まれ絶好のサーフィン日和。短時間だったが十分満喫、それで真っ黒に日焼けした次第。もちろん初めての経験と年齢という理由で、一度も立てなかったのは当然。再度挑戦という気持ちだけは、しっかり心の中に。

字数を気にしながらの状態では、うまく伝わらないかもしれませんが。診療以外にもいろいろな活動をしてはいますが、空いた時間もうまく利用しています。趣味の世界でも、多くの人たちと巡り合い、そして様々な形で支えられているのです。本当にありがたいことだと思っています。ダイビングライセンスまで苦節20年。このことから、格言をひとつ。“今できることを、先に延ばすな”。これも育児に役立つものかもしれません。(HPではダイビングにまつわる写真を掲載するつもりです。乞う御期。)

読者の広場

先月は12通のメールを頂きました。医療相談やプライバシーに関わるものが多かったので、残念がら今回は紹介するメールがありません。いつもは紙面を埋めるのに十分なメールを頂いているので、何となく安心していました。しかし載せるメールが無いと、ちょっと大変と言うことを改めて感じてしまいました。

休診の案内にもあるように、来月14日(金)の午後から休診になります。三重県で開かれる、**日本子ども虐待防止学会**に参加するためです。もちろんただ参加するだけでクリニックを休診にするわけにはいきません。分科会の「**子ども支援の立場から見た虐待防止**」の話題提供者として参加します。虐待防止に関しての小児科医の役割としては、様々な期待があります。小児科医は健診や予防接種で保護者と子どもに接触することが多く、虐待の早期発見に貢献できると期待されています。しかし、現実には虐待をする保護者に限って、子どもに必要な医療、健診、予防接種を受けさせない、いわゆる医療ネグレクトの状況です。一方虐待の背景も様々ですが、保護者の不安や孤立化が原因となるとも言われています。ご承知のように、当院では「お母さんお不安・心配の解消」を理念に、様々な活動をしています。この理念に基づく活動が、虐待防止にどんな影響があるのかを考えてもらうために、当院の活動と共に実際に寄せられた生の声などを話題として提供して来るつもりです。

そこで読者のお母さんたちに、少しお手伝い頂きたいことがあります。もちろん新聞を読んでいるお母さん達には、虐待は関係ないことでしょう。でも関係は無いにしても、立場上気になることを列挙してみます。御意見があれば、patient@kodomo-clinic.or.jpまでお寄せください。虐待をしたこと、しそうなことがありましたか。その原因として、病気や子育ての不安やストレスがありましたか。子育ての中で孤立していると感じたことがありますか。そんな時一番頼りになったのは誰ですか。頼ることによって精神的に楽になりましたか。そんな時、当院の存在や活動が役に立ちましたか。当院の活動が虐待防止の役にたつでしょうか。その他、思い付くことがあれば何でも。よろしくお願ひします。お母さんクラブの会員とかかりつけ患者さんのメールを利用している方には、アンケートをお願いする予定です。



予防接種のお知らせ

インフルエンザワクチンの接種が始まりました。接種は10月下旬以降。年内に接種を！。13歳以上は原則1回、13歳未満は2回接種です。

料金(1回) 3150円(消費税込)

予防接種が多いため当分の間、月・土曜日の午後診療の開始は15:00となります。

休診のお知らせ

12月14日(金)午後～15日(土)

日本子ども虐待防止学会(三重)参加のため休診です。御理解の上、よろしくご協力お願い致します。

仙台リビング掲載のお知らせ

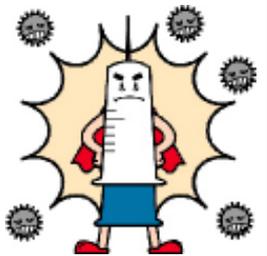
仙台リビング10月20号と11月17号に、2カ月に渡って「教えてドクター ヘルシーPLUS」のコーナーに「**子どもの薬の飲み方**」が掲載されています。薬に対する考え方や飲み方の工夫が載っています。参考に。

お母さんクラブの御案内

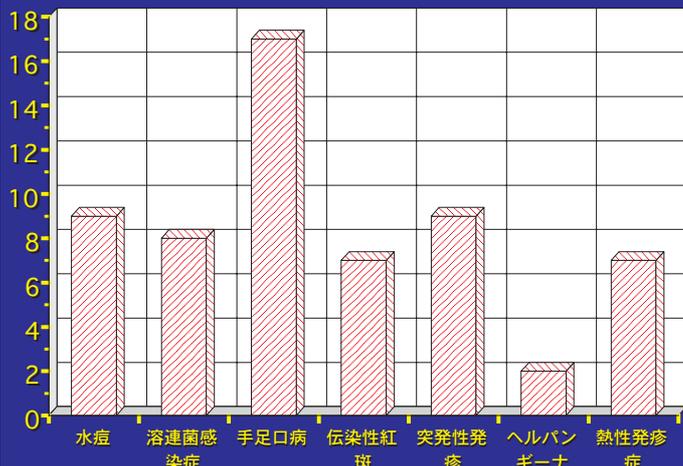
インフルエンザちょっと怖い病気 院長

11月29日(木) 14:00～ 福沢市民センター

今年も、そろそろインフルエンザの季節です。「インフルエンザ ちょっと怖い病気」も、8回目を迎えました。インフルエンザは重症な合併症があり、普通のカゼと区別して考える必要があります。どんな病気なのか。なぜ、毎年話題になるのか。対処法は子どもの病気に全てに共通し、初めての方にも役立つこと請け合いです。もちろん何度参加しても。「こんな時どうするの」の、復習にもなります。今年も、インフルエンザについて勉強してみましょ。ケーブルテレビの取材があるかも知れません。会員以外の参加も可能です。詳しくは受付まで。



10月の感染症の集計



水痘と溶連菌感染症が増加しています。手足口病は減少しましたが、例年に比べて多くみられています。伝染性紅斑も一部の保育園で流行しています。じんま疹などの他の病気の診断を受けていることもあるようです。仙台市内でもインフルエンザが出ているようですが、当院では今のところありません。

編集後記

最近新聞の発行が遅れがちです。言い訳ではありませんが、雑用も多いのです。先日テレビでお馴染みの杏林大学法医学教授の佐藤先生をお呼びして、小さな会(院長が立ち上げた)で講演を頂きました。一面記事の息子の同好会の顧問が佐藤先生と言う訳です。



院長著書「小児科医がやさしく教える 赤ちゃん子どもの病気」の再版にご協力を。詳しくは [かわむらこどもクリニックHP](http://www.kodomo-clinic.or.jp)(<http://www.kodomo-clinic.or.jp>)を